

# DBS グループ・ホールディングス

## カナダの保険大手との提携で、商品多様化による収益拡大が期待される

### シンガポール | 銀行 | 業績レビュー

BLOOMBERG DBS:SP | REUTERS DBSM.SI

- 2015/12 期 2Q (4-6 月) は営業収益が前年同期比 16.3%増の 26.9 億 SGD、純利益は同 15.3%増 11.2 億 SGD となった。
- 純資金利益は同 11.9%増の 17.4 億 SGD、非資金利益は同 15.7%増の 5.8 億 SGD となった。
- 2015/12 通期の市場予想は営業収益が前期比 15.5%減の 107.2 億 SGD、純利益が同 6.8%増の 43.2 億 SGD である。

#### What is the news?

2015/12 期 2Q (4-6 月) は営業収益が前年同期比 16.3%増の 26.9 億 SGD、純利益は同 15.3%増 11.2 億 SGD となった。シンガポールの金利上昇で融資の利鞘が改善した。主力の純資金利益は同 11.9%増の 17.4 億 SGD と四半期ベースで過去最高を更新した。法人向けローン業務が堅調となったほか、住宅ローンでシェアが拡大して融資残高が伸びた。純資金利益の-margin率は 1.75%と四半期ベースで 2012/3Q 以降で過去最高を記録した。また、貿易&トレーディングは堅調に推移しており手数料を含む非資金利益は同 15.7%増の 5.8 億 SGD となった。

貸出と預金業務が順調に伸び、貸出残高は前年同期比 8.8%増の 2,800.7 億 SGD、預金残高は同 2.2%増の 3,059.1 億 SGD となった。同社グループ全体の LDR 率 (LDR=貸出残高/預金残高) は 91.6%と 100%以下の健全な状態を維持している。また、不良債権比率は (NPL Ratio) 2014/2Q から四半期ベースで 5 期連続 0.9%と低水準を維持している。2015/12 通期の貸出残高増加率の会社側見通しは、前期比約 8%増である。

#### How do we view this?

同社 CEO は「米国の利上げや中国の景気減速の影響があり、通年の見通しは不透明だ」と警告した上で融資の見通しは「前向きだ」と述べており、業績動向が注目される。また、同社はカナダの保険大手マニユライフ・ファイナンシャルとアジア 4 カ国 (シンガポール、香港、中国やインドネシア) で同社保険商品を販売する 15 年間の業務提携に合意した。2016 年 1 月から 15 年間の提携期間にマニユライフは 12 億 USD の契約金額を DBS に支払う。マニユライフは DBS のアジア支店網を通じて商品を販売できるようになり、DBS にとっても商品多様化に伴う手数料収入拡大が期待できる。

2015/12 通期の市場予想は営業収益が前期比 15.5%減の 107.2 億 SGD、純利益が同 6.8%増の 43.2 億 SGD である。

#### 業績推移

※参考レート1SGD=86.17円

事業年度	2012/12	2013/12	2014/12	2015/12F	2016/12F
営業収益(百万SGD)	11,046	11,751	12,691	10,718	11,689
純利益(百万SGD)	3,809	3,672	4,046	4,322	4,623
EPS(SGD)	1.57	1.50	1.63	1.73	1.87
PER(倍)	11.31	11.83	10.89	10.26	9.49
BPS(SGD)	12.97	13.95	15.19	16.02	17.18
PBR(倍)	1.37	1.27	1.17	1.11	1.03
配当(SGD)	0.56	0.58	0.58	0.62	0.65
配当利回り(%)	3.15	3.27	3.27	3.49	3.66

(出所: 会社公表資料やBloombergをもとにフィリップ証券作成、F=予想はBloomberg)

## フィリップ証券株式会社

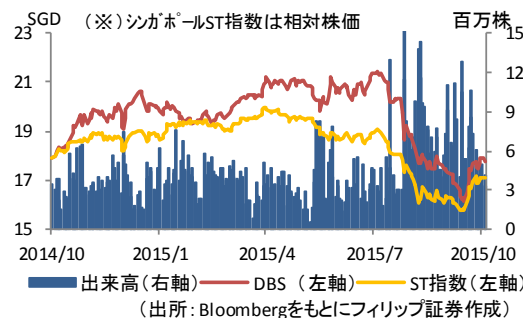
配当予想(USD) 0.62 (予想はBloomberg)  
終値(SGD) 17.75 2015/10/20

#### 会社概要

1968年設立され、アジア最大の金融機関の一つである。東南アジア、南アジアと中国市場を中心に世界17市場において250以上の支店を展開している。消費者に多岐にわたる金融サービスを提供し、アジアや中東などの中小企業および法人向けにもサービスを提供する。リテール銀行として、シンガポールと香港を中心に事業を展開し、一般銀行業務、資金調達、資産運用などにおいて優位を確保している。

#### 企業データ(2015/10/20)

ベータ値 1.10  
時価総額(百万SGD) 44,666  
3ヵ月平均売買代金(百万SGD) 108.04



#### 主要株主(2015/10)

(%)  
1. Temasek Holdings Private Ltd 30.01  
2. Norges Bank Investment Management 1.73  
3. Vanguard Group 1.67

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

#### 袁鳴

ming.yuan@phillip.co.jp

+81 3 3666 0707

庵原 浩樹

hiroki.ihara@phillip.co.jp

+81 3 3666 6980

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL:03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員 庵原浩樹

フィリップ証券 リサーチ部 アナリスト 袁 鳴

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得ております。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。